

✉ 厚生病院だより

# すすかけ

第27号 平成18年11月1日 発行／鳥取県立厚生病院 編集／院内広報誌係

## 厚生病院の基本理念

- 思いやりと優しさ、真心のこもった信頼される病院
- 優れた医療を提供し、地域と密着した病院
- 職員の和を尊び、働きがいのある病院



### 病院職員の地域ボランティア活動報告

10月11日、今年2回目の病院職員（発起人 如春会 会長ほか）による、「東昭和町清掃ボランティア」を行いました。約50人の参加者は、それぞれ手分けして、事務局川口参事が刈り払い機で刈り取った草をビニール袋に拾い集めたり、鎌を持ち刈り払い機が入らないところの草を刈ったり、ペットボトルなどのポイ捨てゴミを拾い集めたりと日が暮れて薄暗くなる6時頃まで、それぞれさわやかな汗を流しました。前回に引き続き、工事中のJV企業体の皆さんにも参加いただき、軽トラック1台分の草やゴミが集まりました。今後も厚生病院が東昭和町地域の皆様に貢献できることを考え、実践していきたいと思えます。

（今回は、東昭和町だけでなく絵下谷川の向こう岸の南昭和町歩道も除草させていただきました。）

（事務局 国米）



最近の医療現場から

一般撮影のデジタル化

中央放射線室では9月中旬より一般撮影をデジタル化しました。従来のX線画像の検出媒体にスクリーン/フィルムが変わってイメージングプレート（IP）を使用し、IPに蓄積されたX線画像情報をデジタル化します。撮影後はモニターで直ちに画像を観察することが可能で待ち時間の短縮にも繋がると考えられます。高感度のIPとコンピュータ画像処理により骨部から軟部までの幅広い領域が描出され、鮮明で見やすい画像を提供するとともに、部位・目的に応じた画像処理効果により診断精度の向上が図れます。また、従来行っていた現像処理が不要となり排気・廃液のない環境にやさしい装置でもあります。今後は電子カルテからの画像参照に向けて接続を進めていく予定であります。



(中央放射線室 吉田)

「認定看護師」

感染管理の目的は、「患者様および職員を感染から守り院内感染率を低減すること」です。しかし感染防止には、院内全体で取り組み実践しないと成果を挙げない、という極めて難しい問題があります。常に院内感染を発生する危険性をもっています。感染管理認定看護師として、日々院内での感染発生状況を把握し、感染対策が効果的に実施されるよう対策を立案し、具体的な指導や助言を行います。認定看護師としてはまだまだ未熟ですが、専門性を活かすべく自己研鑽を重ねていきたいと思っております。感染を起こす微生物は肉眼では見えませんが、対策を確実にすれば決して「見えない敵」ではない、と考えています。皆さんとともに院内での感染を予防し感染率の低減を目指して、地道な活動を行っていきたくと思っております。

(感染管理担当師長 松本 比登美)



新任紹介

神経内科 医師



- ① 深田 育代
- ② 内科の先生方をはじめ、多くの先生方にお世話になっております。今後ともよろしくお願ひします。
- ③ 出雲市

産婦人科 医師



- ① 下雅意 あり
- ② 3年前研修医で、今回は2回目の勤務となります。何とかお役に立てればと思っております。
- ③ 松江市

外科 医師



- ① 児玉 渉
- ② 倉吉は初めての町ですが、自然に囲まれたよい環境で、よい医療提供出来るよう頑張ります。
- ③ 出雲市

- ① 名前
- ② 抱負
- ③ 出身地



厚生病院に入職して半年間、2階病棟で看護業務をさせて頂いています。この半年間自分の勉強不足もあり、看護師としての責任の重さを痛感させられる毎日です。自分の至らないことが多々あり、辛い時もありますが、プリセプターさんや先輩方のご指導や励ましのおかげもあり、今では業務にも少しづつ慣れ、看護に楽しさを感じられるようになってきました。今後は、目標となる先輩方のように、患者様に看護ができるよう気を引き締めて勉強していきたいと思っています。

2階病棟 藤田 勇治



早いもので、厚生病院に勤めだして半年がたちました。初めのうちはわからないことばかりで、先輩の看護師さんに聞いて教えてもらいやつと働いているという感じでした。今は徐々にではあります、わかる事、出来る事も増えてきて、仕事に楽ししみも出て来ました。新人なのでまだまだ出来ない事、わからない事もたくさんあります。今後は、自分の出来る事を行っていき、なおかつ新しい事にも積極的に関わり、今日はこれが出来た、こういう事が分かった、というように看護師として成長していけるよう努力して行こうと思います。

2階病棟 小椋 史紀



## 新人看護師の声

私は3階病棟に勤務しています。初めは、想像以上に大きな責任があることを実感し、看護師としてこの先やっていけるだろうかと不安に思っていました。先輩方の暖かい言葉に励まされ、患者様からの「ありがとう」という言葉に頑張る力を頂きました。これからも毎日が勉強の日々ですが、できないことに落ち込むのではなく、大きな責任とともにやりがいのある仕事であること、またチームで看護していくことが大切であることを忘れず頑張っていきたいと思っています。

3階病棟 黒瀬ゆかり



今、看護師になってからの半年を振り返り、改めて看護師の仕事の大変さと学生のととは違った看護の面白さを感じています。就職した当初は分からないことが多く、分からないことも分からないような状態から、先輩方からのアドバイスを受け、少しずつできることが増えてきました。そして、患者様との関わりの中で様々なことを感じ、学び、成長できているように思います。今後も人との関わりを大切にしたい看護を行っていききたいと思っています。

7階病棟 有福 尚子



### お知らせ

**日本ベースメーカー友の会**

山陰支部(兼中部地区)事務局

連絡先 倉吉市中江156

上本 美雪

TEL 〇八五八―二六―〇八六九

ペースメーカーを植え込んでいる患者の会で、年に1〜2回交流会をしています。ぜひ、ご参加ください。

**中部地区乳腺友の会**

(たんぼほ会)事務局

連絡先 倉吉市東昭和町129

唐沢 洋子

TEL 〇八五八―二二―七〇五八

乳腺の手術を受けた患者の会で、年に1〜2回、講演会を開いています。ぜひ、ご参加ください。

**鳥取さざんかの会事務局**

連絡先 鳥取市浜坂三丁目九―十三

保木本 靖之助

TEL 〇八五七―二三―六六二〇

人工肛門をつけている患者の会で、年に1〜2回交流会をしています。ぜひ、ご参加ください。

# ミニギャラリー

厚生病院では患者サービス改善委員会が中心となって、地域の皆様との交流事業の一環として地元の施設や保育園の皆様から、いろいろな作品を提供いただき、新館1階のホール（医事課前）に展示しました。今後も随時開催いたしますので、個性豊かな作品の数々を、ぜひ一度ご覧になってください。

（患者サービス改善委員会 野崎）



## 厚生病院小児科救急診療体制

季節は秋に入り寒暖の差が激しくなり、子供たちも体調を崩しやすい時期になってきました。当院では平成16年4月より、中部の開業小児科医師の協力を得て小児救急診療を行っています。子供の体調は急変しやすいので、いざという時はぜひご利用ください。

診療の体制は、次の通りです。

診療時間	8:30~10:00	10:00~13:15	13:15~17:15	17:15~22:00	22:00~翌8:00
平日（診療日）	通常の診療			厚生病院小児科医	呼出体制
土曜日（厚生病院休診）	呼出体制		厚生病院小児科医		呼出体制
日曜・祝祭日（休診日）	中部小児科開業医		厚生病院小児科医		呼出体制

### 退職・異動

大変お疲れ様でした

#### 医師

吉本 祐子（神経内科）↓米子医療センター  
明島 亮二（産婦人科）↓退職（明島医院）

#### 看護局

前田 陽子（3階病棟）↓退職  
橋谷 理恵（手術室）↓退職  
北中悠紀子（3階病棟）↓退職

### あ と が き

平成19年5月の新外来中央診療棟オープンに向けて、工事も急ピッチで進んでいます。今号より、編集委員のメンバーが変わり、初めての作業で戸惑いの連続でしたが、これからも院内の情報をどんどん発信していきたいと思っておりますので、よろしく願います。

（経営課 桜木）

#### 編集委員

医療局 深田民  
医療局 山本  
医療技術局 吉田  
看護局 田中容  
看護局 福田千  
事務局 國米  
事務局 桜木